



# yorisoU



2017年3月発行

Vol.06

よりそう

特集

02

皮膚科  
全身の皮膚を、診る

特集

01

形成外科  
国内外から高く評価される  
マイクロサージャリー

ち

ちいきに  
yorisoU

「地域医療支援病院」が  
果たす役割

か

かそくに  
yorisoU

2人に1人が悩んでいる!?  
アレルギー症状とセルフケア

医療安全管理部…  
感染予防対策室より、こんにちは  
Information / 最先端「yorisoU



01  
形成外科国内外から高く評価される  
マイクロサージャリー

けがや手術などによるからだの変形を、機能だけでなく見た目にもきれいに治療する形成外科。近年、最先端の医療技術を用いた新しい手術方法により、形成外科の可能性が拡がりつつあります。

形成外科のおはなし

教授  
田中 一郎

## — 新しい形成外科

**形** 成外科と整形外科の違いをご存知でしょうか？

ごく簡単に説明すると、整形外科はからだを動かす骨・関節と筋肉、それらを支配する神経系の病気やけがの治療を目的としています。対して形成外科は、顔面や皮膚など体表面の形態的な異常や、けがなどによる変形を、機能だけでなく見た目にもきれいに治療することを目的としています。よって形成外科医は、見た目を美しく仕上げするために高度な技術を求められるのです。そのなかで、マイクロサージャリーと呼ばれ

る顕微鏡を用いた手術が、形成外科の可能性を大きく広げようとしています。

当科では、マイクロサージャリーを始めとする最先端技術を駆使する専門医が、従来の方法では難しかった部分に新たな治療の道を切り拓きました。そのうえで、当科の4つの専門分野を紹介します。

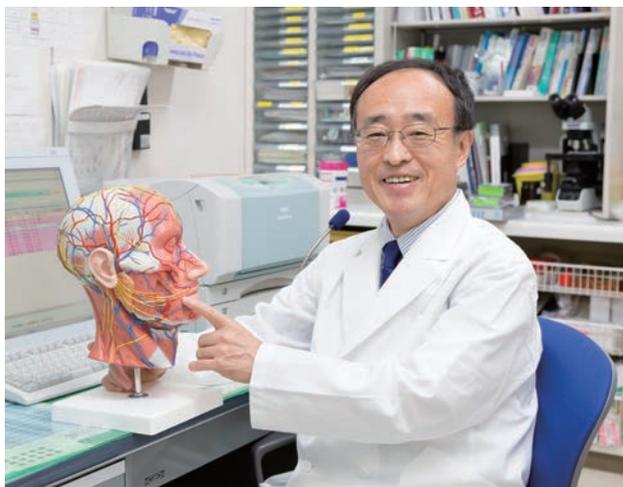
## — 顔面神経麻痺の改善

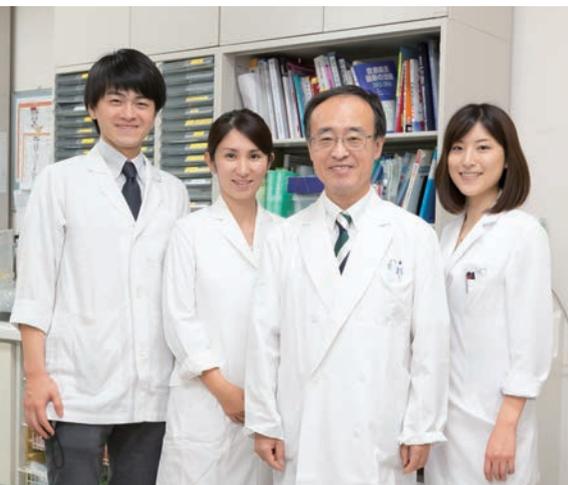
**表**

情を司る神経が傷つくことで、顔の筋肉を動かせなくなるのが顔面神経麻痺です。原因の多くがウイルス性で、耳鼻咽喉科や神経内科などで薬物による治療が行われますが、発症後数か月～半年を経

ても回復しないことがあります。このような場合に「顔面神経再建術」という手術を行うことで、麻痺を改善することが可能です。これは麻痺した顔面神経に、他の運動神経の一部をつなぐことで神経の回復を促す手術です。神経の直径は1mm以下の場合もあり大変細かい作業になるので、手術は手術用の顕微鏡を用いて安全・正確に行います（マイクロサージャリー）。

麻痺の発症から1年が経過しても回復せず、顔の表情が失われてしまったような場合は、背部などの筋肉の一部を血管や神経を含めて麻痺した顔面へ移植します。移植した筋肉が動くことで笑顔などの表情を





再び取り戻すことが可能です。加えて形成外科ならではの整容的なテクニックを活かして、麻痺による顔の垂れ下がりや歪みなどをきれいに直します。

この顔面神経麻痺の治療においては、いくつかの新しく、治療成績のよい手術法を開発してきており、国内だけでなく世界中からも注目されています。

## 乳房再建

**乳**がん手術で失った乳房を新たに取り戻す「乳房再建」には、皮膚や脂肪など自分自身の組織を移植する方法と、人工物を挿入する方法（インプラント）があります。乳房切除の手術を受けた場合のイン

プラントが保険適用になったことで、昨年だけでも全国で数千人がこの手術を受けています。当科ではマイクロスージャリーを利用して、からだに負担の少ない自家組織移植も行っています。再建をお考えの方は、一度主治医や形成外科にご相談ください。

## リンパ浮腫を軽減

**か**んの手術でリンパ節を取り除いた後、「リンパ浮腫」と呼ばれる病的なむくみが出る場合があります。これに対しては、皮下にあるリンパ管と近くの細い静脈をつなぐことで、たまったリンパ液を静脈に流して浮腫を軽減させる「リンパ管静脈吻合術」で

対応しています。また、他のリンパ節の一部を移植する「リンパ節移植」を行うこともあります。これらの手術でも1㎜以下の細い血管やリンパ管をつなぐ必要があるのですが、当科は全国3位の症例数を持つ専門医が非常勤として在籍しており、安全・確実な治療を行っています。

## 眼瞼下垂症の手術

**ま**ぶたが上がりにくくなったり垂れ下がったりする眼瞼下垂症は、物が見え

づらくなったり、目元が重苦しい印象を与えるだけでなく、知らぬまに肩こりや頭痛の原因になっていることもあります。当科ではまぶたの手術も専門としており、まぶたを引き上げて見えやすくするだけでなく、整容面にも考慮して目元をすっきりさせる手術を行います。手術は局所麻酔で、両目合わせて1〜2時間程度で終了します。ほとんどの場合で保険適用です。手術後、目元だけでなく顔全体が若々しくなって外出する機会が増えたという患者さんも少なくありません。

以上が当科の専門的な治療ですが、顔の表情を取り戻したり、目元をすっきり若々しくさせるなど、形成外科は笑顔を取り戻すことができる診療科です。

### 形成外科 DATA

- 日本形成外科学会認定施設
- 医師数：6名
- 主な対象疾患：【形成】癒痕やケロイド、眼瞼形成（眼瞼下垂症、眼瞼の内反・外反症、眼瞼痙攣）、皮膚腫瘍 【整容】重瞼術、隆鼻術、しみ・しわの治療など 【先天性異常】埋没耳、耳瘻孔、口唇裂、合・多指（趾）症などの治療 【外傷】顔面外傷（顔面骨骨折、顔面深部損傷）、四肢外傷、熱傷など 【再建術】腫瘍切除後（顔頸部腫瘍、乳がん、皮膚腫瘍など）や外傷後の組織欠損・変形・機能障害、顔面神経麻痺、リンパ浮腫、難治創（下腿潰瘍、膿皮症など）

## 02 皮膚科

## 全身の皮膚を、診る

皮膚科のおはなし

教授  
高橋 慎一

湿疹や発疹（赤いブツブツ）などの皮膚の病気は、だれもが一度はかかったことがあるでしょう。しかしこの湿疹が、皮膚だけでなく内臓などに原因がある場合もあります。皮膚科医は、この皮膚に現れた症状から全身の問題を診ています。今回はそんな皮膚科で行われている、他の診療科と連携した診療についてご紹介します。

## 地域唯一の入院可能施設

## 皮

膚科と言うと、多くの方はアトピー性皮膚炎やじん麻疹などをイメージされるかもしれませんが、しかし、当科が診療する疾患でいちばん多いのは良性・悪性を含めた皮膚の腫瘍です。これらが全診療数のおよそ3割を占めます。続いて帯状疱疹などの感染症、湿疹・皮膚炎、じん麻疹、多形紅斑、蜂窩織炎…という順に続きます。

担当する医師は常勤3名、非常勤2名の計5名で、うち4名が皮膚科専門医の資格を持っています。この充実した体制に基づいて、市川地域において唯一、皮膚科で

入院治療が可能な施設となっています。

人のからだは皮膚に覆われています。皮

膚科医の診療範囲は、その全身の皮膚です。皮膚の一部に症状が現れていても、その原因は内臓にあったり、他の病気であったりすることも多いので、皮膚科は幅広い知識を持つとともに、他の診療科と連携・協力し合うことも欠かせません。また、歯科大学附属病院のメリットを活かして、歯科・口腔外科との連携も密接です。こうした連携によって、世界でも数少ない専門外来を開設しています。そのユニークな専門外来をご紹介します。

## 「粘膜疾患外来」とは

## 世

界初の試みである「粘膜疾患外来」。ここでは口の中の粘膜に症状が現れる病気に対して、皮膚科と歯科・口腔外科が相談しながら診療にあたっています。粘膜が白くなったり赤くただれたようになって

たりする病気や、なかなか治らない口内炎などを対象に、皮膚科は内服薬による治療を、歯科・口腔外科は粘膜の検査や病変部分へ直接くすりを塗るなど、治療を分担して対応しています。それぞれの専門的な知識と技術を活かすことで、より効果的な治療を行うことが可能になりました。この



ように皮膚科と歯科・口腔外科の連携がない病院の場合は、まず皮膚科を受診して診療を受けますが、口の中の炎症は皮膚科では検査できないため、歯科・口腔外科の予約を取り改めて受診してもらい、歯科・口腔外科で検査をして、その結果を皮膚科で判断し、治療を始める…というように、診療科を行ったり来たりする必要があります。このような点でも、連携することで検査がスムーズになることはすぐに想像がつくでしょう。

また、皮膚科と歯科・口腔外科だけでなく病理部門との連携も密に行っています。通常は結果が出るまで1か月程度かかる検査なども、2〜3週間で正確な結果を出すことができます。診療科が連携し合うことで検査もスムーズになり、早く治療を開始することができるのです。

### 難病「掌蹠膿疱症」にも対応

**手** のひらや足の裏が真っ赤にただれて皮がめくれてしまう、掌蹠膿疱症（しようせきのうほうしょう）という病気があります。手や足がガサガサになるので皮膚病のように思われますが、実は全身疾患です。

更に原因が解明されていない難病でもあります。耳鼻咽喉科の対象疾患である扁桃炎や副鼻腔炎、歯科・口腔外科の対象疾患である歯周囲炎や歯の詰め物による金属アレルギーが関連していることが多く、喫煙が病気を悪化させるとも言われます。そこで、関連している診療科と共同で診療する掌蹠膿疱症の専門外来を開設しました。患者さんは脊椎などにリウマチのような関節炎を起こすことも多いので、内科（リウマチ内科専門医）、整形外科とも連携を取り合い、



きめ細やかに治療しています。

私たちの全身を覆っている皮膚。一言に皮膚科と言っても、様々な病気に対する治療を行っています。もちろん患者さんのいちばん多い腫瘍に関しては、形成外科とも連携しながら、美容的にも機能的にも美しく仕上がるように努めています。なかなか治らない湿疹やかぶれなど、皮膚に関するトラブルがありましたら、ぜひご相談ください。



#### 皮膚科 DATA

- 皮膚科専門医研修施設
- 医師数：5名
- 主な対象疾患：湿疹・皮膚炎群、じん麻疹・痒疹、紅斑・紅斑症、薬疹・中毒疹、皮膚血管炎、うつ滞性皮膚炎などの脈管疾患、熱傷（広範囲な重傷熱傷は除く）、褥瘡などの皮膚潰瘍、水疱症・膿疱症、角化症、色素異常症、脂肪織炎、付属器疾患、母斑、皮膚良性腫瘍・悪性腫瘍、ウイルス感染症、細菌感染症、真菌感染症、性感染症、昆虫による皮膚疾患など

# アレルギーとは

アレルギーは、食べ物や花粉といった普通は無害な物質をからだのなかの免疫が「敵だ!」と誤認して攻撃してしまうことで起こります。原因となる物質(アレルゲン)が侵入したとき、免疫反応が必要以上に活発になってしまい、目や鼻の粘膜といった局所や、皮膚など全身に様々な症状が現れるのです。いくつかのタイプがあるなかで、反応が出る早さによって大きく即時型と遅延型に分けられます。即時型にはアレルギー性鼻炎、食物アレルギー、アナフィラキシーショックなどがあります。遅延型の代表は、金属やゴムなどによるアレルギー性接触皮膚炎です。またアトピー性皮膚炎は、即時型と遅延型の両方の特徴があると言われています。



かぞくに  
yorisou

2人に1人が悩んでいる!?

## アレルギー症状とセルフケア

食べ物や花粉など、様々な物質に反応する「アレルギー」に悩む人は増加傾向にあり、わが国全人口の半数がなんらかのアレルギー疾患にかかっているとの報告もあります。国民病とも言えるアレルギーについておさらいするとともに、アレルギーの代表格・花粉症のセルフケアをご紹介します。

※リウマチ・アレルギー対策委員会報告書(平成23年)



### 「アレルギー性鼻炎」は2つのタイプが!

アレルギー性鼻炎は、アレルゲンの種類によって、季節性アレルギー性鼻炎と通年性アレルギー性鼻炎に分かれます。季節性のアレルゲンは花粉で、日本で最も多いのはスギによる花粉症です。鼻炎の他に、目のかゆみや涙目、耳のかゆみなどの症状が現れることもあります。通年性のアレルゲンは、カビ、ペットの毛、ダニなどのハウスダストです。ぜんそくやアトピー性皮膚炎を合併することもあります。最近季節性と通年性の両方に悩む人も増えています。



## 食べ物、金属…身近なアレルギー

アレルギーの原因は多様です。  
身の周りのアレルギーを紹介します。

### アトピー性皮膚炎

多くが乳児期に発症。強いかゆみをともなう発疹がくり返し出現します。発症要因のひとつが遺伝であること、冬場の乾燥や夏場の高温などが悪化要因であることはわかっていますが、発症メカニズムの全容は解明されていません。

### 食物アレルギー

特定の食べ物が原因でじん麻疹・湿疹・下痢・咳などの症状が起こります。即時型ではアナフィラキシーショックに注意が必要です。小児型の場合、卵・牛乳・小麦・大豆が代表的なアレルゲンです。約9割が、遅くとも小学校入学時までにはほぼ治まると言われています。



### 金属アレルギー

ネックレスや時計のバンドなど、皮膚と接触する金属がアレルゲンとなって接触性の皮膚炎が起こります。症状は接触付近の他、からだの広範囲に及ぶこともあります。歯科治療で使った詰め物による口腔金属アレルギーも増えています。



### アナフィラキシーショック

短時間で急激な症状が現れるアレルギーです。じん麻疹、腹痛、嘔吐、呼吸困難の症状が現れたあと血圧低下や意識障害など生命にかかわる状態を招きます。原因は食べ物、薬剤、昆虫刺傷（ハチ毒）などが知られています。

### 口腔アレルギー症候群

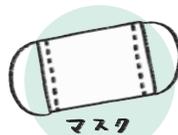
新しいタイプの食物アレルギーです。果物、野菜、豆乳などが原因で、口のなかやのどにしびれやかゆみなどの症状が現れます。発症者の多くがカバノキ科（ハンノキなど）の花粉症患者のため、その関連性が研究されています。

## セルフケアで花粉を避けよう！減らそう！

春先から初夏にかけて多くの人を悩ます花粉症。症状の軽減には、花粉予報などで飛散情報をチェックすることや、花粉をからだや身の周りから遠ざけるようにする工夫が大切です。

### ✓ ファッション編

マスクやメガネを装着すると、非装着に比べて鼻やのど、目に入る花粉の数を半分に以下に減らせるようです。コンタクトレンズを使っている方は、メガネに替えるとよいでしょう。また帽子をかぶることで、頭皮に花粉が直接付着することを防げます。ウール素材の服は花粉が付着しやすいので、生地にも工夫しましょう。



### ✓ 屋内編

屋内でも花粉に触れないようにすることが重要です。風の強い日など花粉が大量に飛散する日は、長時間窓を開けないように。屋外での洗濯干し、布団干しも控えましょう。外干した洗濯物は、取り込む前によくはたきましょ。またこまめな掃除もポイントです。室内に入り込んだ花粉対策に加え、ダニなどのハウスダストによるアレルギー対策にもなります。



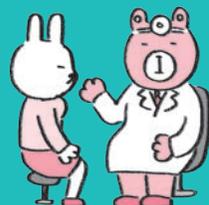
### ✓ 生活習慣編

外出から帰ったら、衣服についてた花粉を玄関の外ではたき落とし、なるべく室内に持ち込まないようにしましょう。顔や手（露出した肌）、のどについてた花粉も、洗顔やうがいで落としましょう。また喫煙は粘膜にダメージを与え、症状悪化の要因になります。できれば避けたい生活習慣ですね。



耳鼻咽喉科 医師  
中島 庸也 監修

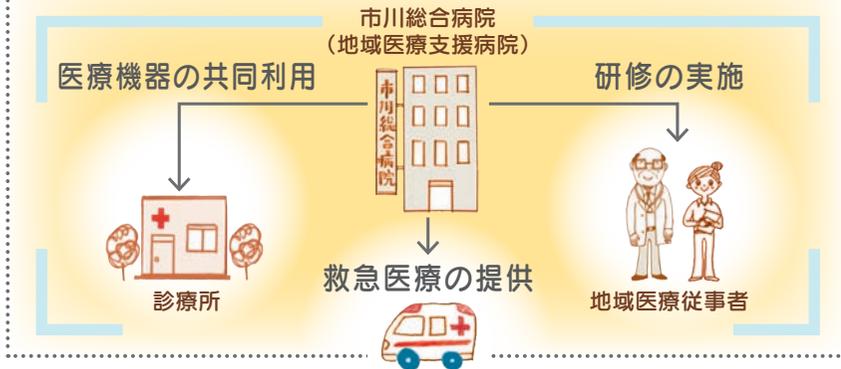
症状が気になったら  
早期受診を  
アレルギーは、鼻、口の  
どなど粘膜面に症状が現  
れることが多いものです。  
加えて、花粉症では耳のなかにかゆみ  
を訴える人もいます。そんな多様なア  
レルギー症状を、耳鼻咽喉科では丁寧  
に診察・治療しています。花粉症以外  
では、イヤフォンの材質が原因と思われ  
るアレルギー性接触皮膚炎も増えてい  
ます。スマートフォンや携帯端末で音楽  
や動画を楽しむ人が多い現代ならではの  
アレルギーでしょう。このように、身  
近なもののアレルゲンになってしまい、  
症状に悩む人は今後とも増えていく可能  
性があります。これまでアレルギーでは  
なかった人が、あるきっかけで発症する  
ということも多いのです。とくに花粉  
症は症状が風邪に似ており、はやる時  
期も重なっています。「風邪かな」と  
受診して、初めて花粉症と診断される  
ケースはよくあります。花粉飛散期に  
風邪のような症状があれば、早期にか  
かりつけ医を受診して、アレルギー検  
査を相談してみるのもよいでしょう。





ちいきに  
yorisou

## 地域医療支援病院



# 「地域医療支援病院」が果たす役割

## 地域完結型医療体制の構築に向けて

### 住

み慣れた場所で自分らしく健康に生活するために、正しい「医療」のかけがえが大切です。自分のからだの変化や特徴をよく知るかかりつけ医を持つことは、結果として最善の医療を受けることにつながると考えられます。

当院は「地域医療支援病院」です。「地域医療支援病院」とは、他の病院や診療所からの紹介患者さんに対する医療の提供、病床や医療機能の共同利用の実施、地域の医療従事者の研修などを行い、他の医療機関との適切な役割分担と連携を図っていくことにより、効率的な医療提供体制の構築を図る役割を担った病院のことです。前回は紹介患者さんと病院のかけがえについて解説しました。今回は、それ以外の

役割についてお話しします。

### 医療機器の共同利用

CTやMRIなどの高度な医療設備を地域の先生方と共有したり、図書室など病院が持つ施設を一部共同利用したり病院機能を共有できるようにしています。

### 救急医療の提供

救急車による搬送や、診療所などから紹介された救急患者さんを受け入れる機能を持っています。当院は2・5次救急医療機関でもあり、緊急時に高度な医療を提供することが可能な設備を整えています。

### 医療従事者への研修の実施

地域の先生方を対象に、症例報告会や勉強会を開催していま

す。これは高度な専門性が求められる病気の診断や診療の内容を、地域の先生方とともに学ぶことで、専門知識を共有することに貢献しています。当院では「市川リレーションシップカンファレンス」を年6回開催し、多くの先生方とディスカッションを重ねています。

このように当院は「地域医療支援病院」として様々な役割を果たしています。地域にお住いの皆さんが安心・安全に自宅を過ごすことができるように、地域で良質な医療が提供できることを主眼に整備されているのです。



医療連携登録医在籍医院

## 小菅医院

内科・小児科・循環器内科

すべては患者さんの「安心」のために。スタッフ一同、笑顔で対応します

祖父の代より市川市で開業し、現在は医師2名、看護師4名、事務3名のスタッフ体制で診療しています。父と私の二代で診療していますので、患者さんも世代を超えて幅広く受診いただいています。当院の強みは、内科診療に加え心臓の病気に対して専門的な検査や治療ができる体制も整え



ていることです。不整脈や胸痛など、受診を迷うようなときには遠慮なくご相談ください。大病院で多くの症例を経験してきた知識を活かして適切に対応します。また、ベテラン看護師の優しさも強みです。お子さんの急な変調で心配されるご家族には親の気持ちで、同世代の患者さんには同じ目線で。親身に話を聞く姿勢に、安心してくださる患者さんは多いようです。不安なときには電話でも状況を確認させていただくなど、皆さんのホームドクターとして全員一丸となって対応しています。

### 小菅医院

所在地 千葉県市川市須和田1-24-15  
電話 047-371-4307



医療連携登録医在籍医院

## 石井歯科医院

歯科

病気を診ながら、人を診る。全人的な歯科医療を実践しています

当院では、病気の原因を突き止める「診断学」に基づいて、それらと全身とのかかわりを探る「オーラルメディスン」の考えを実践した歯科医療に取り組んでいます。痛みの治療を行うのはもちろんですが、その原因について生活習慣を含め広く探っていく



康のために。気になるとがあったら、なんでもご相談ください。

ます。ですので、診療では患者さんの訴えを聴き、質問するといった問診の過程をいっばん大切にしています。また歯科医師としては珍しく心理療法に関する学会にも所属し、習得した心理学的アプローチを診療に活用しています。「チクっとしませよ」と注射されるより「押される感じがしますよ」と言われる方が痛みを感じにくいのは、心理学的な理由があるのです。地域の皆さんの歯と全身の健康のために。気になるとがあったら、なんでもご相談ください。

### 石井歯科医院

所在地 千葉県市川市宮久保1-16-3  
電話 047-300-5585



# 医療安全管理部：感染予防対策室より、こんにちは



私たちは、患者さん皆さんに安心で、安全な医療を提供するために、院内の安全管理に努めている部門です。

そのなかでも「感染予防対策室」は、院内感染が起こらないよう徹底した感染制御を行うチームで、ICT（インフェクションコントロール チーム）と呼ばれてい

ます。感染の原因となる細菌に対しては抗菌薬を使用しますが、同じものを継続使用していると、ときとして病原菌はその薬剤が効かない能力（薬剤耐性）を獲得してしまうこともあります。それを防ぐために定期的に院内を巡回して、抗菌薬が適正に使用されているか、薬剤耐性菌の感染が拡大しないように対策がとられているかを監視しています。

また、院内の感染対策だけでなく、連携している他の施設なども感染制御の合同勉強会などを開催して、患者さんにとってより安全な環境になるよう努力しています。



## 感染予防対策室の医療略語

感染予防対策において登場する医療英語と略語を紹介します！

### 耐性菌の略語

#### MRSA

(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)

抗生物質「メチシリン」への耐性を持った菌。90年代後半に院内感染のニュースで有名になった。メチシリンだけでなく多くの薬剤に耐性を持ったものも存在する。ちなみに「バンコマイシン」に耐性がある菌はVRSA。



### 医療用語

#### Standard Precaution

(スタンダードプリコーション)

人を対象にした感染予防策のこと。手洗いの徹底、医療用手袋や手術用ガウンの正しい着用、医療器具の正しい取り扱いなどが、具体的に定義されている。



### 医療スタッフ用語

#### リンクナース

患者さんや医療スタッフなど院内のすべての人を院内感染から守るため、感染対策を担当する看護師。委員会や各病棟の看護師などと情報交換・情報共有し、徹底した感染対策に目を光らせている。



医療安全管理部  
Medical Risk Management Dept.  
医療安全管理課  
感染予防対策室



# information

「市病から始めよう！  
昼ドキッ☆健康講座」を  
開催しました

毎回好評を博している「昼ドキッ☆健康講座」。今回は、近視矯正手術（レーシック）をテーマに、安全な老眼矯正の最新情報を紹介しました。また、アイバンク啓発ドラマの上映も行いました。



市川市との  
医療救護活動合同  
訓練を実施しました

3月4日（土）、市川市主催、当院共催で、医療救護活動合同訓練を実施しました。



参加団体は市川市職員の方々と、はじめ市川市医師会、市川市歯科医師会、市川市薬剤師会、市川浦安接骨師会、市川保健所、赤十字奉仕団の方々です。病院正面広場、外来待合ホールを訓練実施場所として、参加者全員が連携・協力して、広域的な災害対応能力向上のため、さまざまな事態を想定した実践的な訓練を行いました。ドクターヘリの離着陸訓練も実施することができました。

NEW!  
温冷配膳車が  
新しくなりました

入院患者さんにお食事を届ける「温冷配膳車」が新しくなりました。温かいものは温かく、冷たいものは冷たく。また、見た目や患者さんに合わせたメニューの対応など、いつものお食事をよりおいしく召し上がっていただくための工夫ができるようになりました。



## オモテのひと NSTチーム

私たちは入院患者さんの栄養・食事管理の支援に取り組んでいるチーム（NST：Nutrition Support Team）です。医師、歯科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、歯科衛生士、言語聴覚士などの多職種が、それぞれの職域の垣根を越えて患者さんの栄養と健康状態をチェックしています。

チーム内には摂食・嚥下チームもあり、口から栄養を摂ることのサポートもしています。



# 質の高い医療の実現と よりよい患者サービスのために

2017年1月より、当院の電子カルテシステムを更新しました。

電子カルテシステム更新の意義は、パッケージシステムで定期的にバージョンアップされ、陳腐化しないものを導入することにあります。

常に進化を続ける電子カルテを導入することで、医療の効率化を図り、医療の質を向上させ、患者さんに安全で継続性のある医療を提供し続けることができます。

地域医療支援病院としての役割を果たせる病院になるべく、ハード・ソフトの両面を更に充実させていき、常に、皆さんの安心によりそう病院でありたいと考えています。



新しくなった  
自動再来受付機!!



院内の医療安全を支えています

医療安全管理室では、院内環境に関する調査や、事故を未然に防ぐための情報収集を行っています。これらを報告書にまとめ、院内スタッフ全員で共有することで、より安全な医療を提供できる体制づくりに貢献しています。

また「5Sのラウンド（整理、整頓、清潔、清掃、しつけの確認）」や「MEラウンド（医療機器の安全使用の確認）」を隔週で行うなど、徹底した院内環境整備にも力を入れています。すべては、患者さんに安心して治療を受けていただくために…。これからも真面目に、正直に、医療安全に取り組みでまいります。



医療安全管理室看護師  
木村 美保

ウ  
ラ  
の  
ひ  
と

## アクセスのご案内

- JR総武線「市川駅」から、北口2番停留所より京成バス「市川学園」行乗車、「市川総合病院」下車
- JR総武線「本八幡駅」から、北口1番停留所より京成バス「市川駅」行乗車、「市川総合病院」下車
- 京成線「市川真間駅」から、「市川真間駅」停留所より「市川学園」行乗車、「市川総合病院」下車

※ JR総武線「市川駅」からタクシーで約10分。700円～1000円程度。

※ 病院駐車場の台数には限りがあり、入場までに1時間程度要する場合もございますので、ご来院の際はなるべく公共交通機関をご利用願います。



市川総合病院

〒272-8513 千葉県市川市菅野5-11-13

TEL 047-322-0151 (代表)

<http://www.tdc.ac.jp/hospital/igh/index.html>